

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式少人数教育推進費																		
予算額	8,241,236千円	新規・継続の別	継続																
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。</p> <p>2 内容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>予算額</td> <td>7,600,510千円</td> </tr> </table> <p>○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置 ○配置した定数を活用し、市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・チームティーチング・少人数学級を選択して実施</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>少人数授業</td> <td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td> </tr> <tr> <td>チームティーチング</td> <td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td> </tr> <tr> <td>少人数学級</td> <td>市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制</td> </tr> </table> <p>中学校少人数教育推進費</p> <p>○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は ○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能</p> <p>(2) 小学校低学年指導充実費</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td rowspan="2">配置学級数</td> <td>1年</td> <td>約306学級</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>約280学級</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>640,726千円</td> </tr> </table> <p>○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施 ○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用</p>			予算額	7,600,510千円	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制	配置学級数	1年	約306学級	2年	約280学級	予算額		640,726千円
予算額	7,600,510千円																		
少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開																		
チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開																		
少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制																		
配置学級数	1年	約306学級																	
	2年	約280学級																	
予算額		640,726千円																	
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	課・担当 電話番号	075-414-5799 075-414-5833																

子どものための京都式少人数教育推進費

「まなび教育推進プラン」の重点施策の具体化のため、小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

小1・小2の35人学級の実施
(継続)

小学校

1年

2年

小学校低学年指導充実費
(継続)

予算額 640,726千円
(24 640,726千円)

○授業等に集中できなかったり、教員との関わりを強く求める小学1、2年生で2人の教員による指導を実施

京の子ども・少人数教育推進費

次の3つから
市町村が選択

少人数授業

子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導

チームティーチング

1クラスを2人の教員が協力して指導

少人数学級

40人未満の人数で学級を編制

小学校

3年

4年

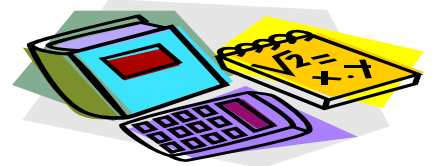
5年

6年

京の子ども・少人数教育
推進費 (継続)

予算額 7,600,510千円
(24 7,630,510千円)

○30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を実施



中学校

1年

2年

3年

【再掲】
中学校少人数教育推進費
(継続)

予算額 195,000千円
(24 195,000千円)

○35人を超える学級規模の解消
又は
○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	京都式専科教育推進事業費								
予算額	24,240 千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的</p> <p>小学校から中学校への円滑な接続を図り、小学生の個性の伸長、豊かな情操の育成、伝統文化への理解等を進展させるため、京都方式による小学校専科教育を実施する。</p> <p>2 内容</p> <p>府内小学校の芸術教科で、中学校等の教員による専科指導を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="443 1339 1289 1653"> <tr> <td>◆ 対象学年</td> <td>小学校5、6年</td> </tr> <tr> <td>◆ 対象教科</td> <td>音楽、図画工作</td> </tr> <tr> <td>◆ 実施方法</td> <td>中学校の教員を、その通学区内の小学校に派遣</td> </tr> </table> <p>※ 府立高校の教員の活用も、併せて推進する。</p>			◆ 対象学年	小学校5、6年	◆ 対象教科	音楽、図画工作	◆ 実施方法	中学校の教員を、その通学区内の小学校に派遣
◆ 対象学年	小学校5、6年								
◆ 対象教科	音楽、図画工作								
◆ 実施方法	中学校の教員を、その通学区内の小学校に派遣								
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5842						

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	中学生学力アップ促進事業費		
予算額	131,016千円	新規・継続の別	新規・継続
事業概要 目的 対象 方法等	1 小・中学校学力診断テストの実施		
	目的	府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善に役立てる。	
	内容	小学校	中学校
		対象:第4学年 教科:国語・算数	対象:第1・2学年 教科:国語・数学・英語(中2のみ)
	全国テスト <国調査>	対象:第6学年 教科:国語・算数	対象:第3学年 教科:国語・数学
	2 中1振り返り集中学習「ふりスタ」		
	目的	中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図る。	
内容	・対象:中学1年生 ・実施時期:中学1年の早い時期(主に4月から8月) ・実施教科:国語、算数等		
3 中2学力アップ集中講座 【新規】			
目的	土曜日を活用しながら、中学2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施		
内容	・対象:中学2年生 ・実施教科:国語、数学、英語等		
4 中学生読解力向上対策 【新規】			
目的	「読む力」「書く力」を総合的に高めていき、実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成する。		
内容	・中学生を対象として、小論文グランプリを開催 ・読解力向上フォーラムを開催		
5 大学の先生に学ぼう体験事業			
目的	優れた資源を有する大学との連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成する。		
内容	<体験授業の実施> 大学からの出前、大学での受入れによる体験授業の実施 <教員研修の実施> 大学での最先端の科学技術等に関する研修(理科系)		
6 学力向上サポートチーム 【新規】			
目的	学力向上拠点校に学力向上サポートチームを配置し、学力向上対策を支援		
内容	<土曜日教育の実施> 土曜日教育における地域人材のコーディネート、補充学習の支援など <地域総ぐるみの学力向上> 家庭学習支援、教育環境支援や退職教員の支援による若手教員等の授業力アップ		
7 学力向上システム開発校 【新規】			
目的	学校独自の学力向上プランの実施や、その成果の波及による府全体の学力向上を推進		
内容	◇学力向上システム開発校を選定 自校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等		
担当課名	学校教育課 指導第1担当 学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5842 075-414-5840

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	学習習慣確立支援事業費								
予算額	71,512千円	新規・継続の別	継続						
事業内容	<p>1 目的 府内の小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置することにより、児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び学習習慣の定着を図り、自ら学ぶ力を育成する。</p> <p>2 内容 ◆小・中学校への「まなび・生活アドバイザー」の配置</p> <table border="1" data-bbox="379 1160 1404 1776"> <thead> <tr> <th>校種</th> <th>事業概要（活動内容等）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配置人数 17人程度 【充実】 〔地域の状況に詳しい退職教員等を活用〕 生活習慣・学習習慣の定着に向けた支援 学級担任、福祉関係機関、地域等と連携した支援 等 </td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 配置人数 15人程度 〔社会福祉士等の専門家を活用〕 社会福祉の専門的知識・技術を用いた支援 学級担任、スクールカウンセラー、社会福祉関係者等と連携した継続的な支援 等 </td> </tr> </tbody> </table>			校種	事業概要（活動内容等）	小学校	<ul style="list-style-type: none"> 配置人数 17人程度 【充実】 〔地域の状況に詳しい退職教員等を活用〕 生活習慣・学習習慣の定着に向けた支援 学級担任、福祉関係機関、地域等と連携した支援 等 	中学校	<ul style="list-style-type: none"> 配置人数 15人程度 〔社会福祉士等の専門家を活用〕 社会福祉の専門的知識・技術を用いた支援 学級担任、スクールカウンセラー、社会福祉関係者等と連携した継続的な支援 等
校種	事業概要（活動内容等）								
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 配置人数 17人程度 【充実】 〔地域の状況に詳しい退職教員等を活用〕 生活習慣・学習習慣の定着に向けた支援 学級担任、福祉関係機関、地域等と連携した支援 等 								
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 配置人数 15人程度 〔社会福祉士等の専門家を活用〕 社会福祉の専門的知識・技術を用いた支援 学級担任、スクールカウンセラー、社会福祉関係者等と連携した継続的な支援 等 								
担当課名	学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5840						

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校特色化事業費		
予算額	63,431千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的〕 対象 方法等	1 目的 「府立高校特色化推進プラン」に基づき、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践し、各高校の特色化を推進		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	事業名	概要	事業費
	大学研究室連携事業 (スクールラボ)	<ul style="list-style-type: none"> 大学の研究分野と連携した「研究室」を設置 大学の研究員等と高校生が共同研究を実施 研究者による特別講義や教科指導も実施 	36,272
	数学オリンピック等 チャレンジ事業	<ul style="list-style-type: none"> 数学や物理の国際大会へのチャレンジを支援 京都大学と連携し大会参加に向けた道場を開設 大学の研究室と連携した特別講義等 	3,952
	府立高校一校一社 連携事業	<ul style="list-style-type: none"> 先端企業を高校のサポートカンパニーとし、社員による特別講座やワークショップを実施 地域産業と連携したインターンシップの充実 	3,650
	ハイスクール起業 チャレンジ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 職業学科が共同で、新たな製品ブランドを開発 「高校生カンパニー」を設立し、企画・生産から販売まで6次産業を実践 	1,089
	京都フロンティア校 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携やICT活用、ボランティア活動の推進など、各高校の特色に応じて自ら設定したテーマに基づく先進的な取組を支援 	15,000
	産学連携プログラム 推進事業等	<ul style="list-style-type: none"> 経済団体や国際貢献団体等による講義と問題解決セッション 大学教授や新聞記者等による論文作成講座 高校生による研究論文コンテスト 	3,468
	合 計		63,431
担当課名	高校教育課 指導第1担当 指導第2担当 振興担当	電話番号	075-414-5851 075-414-5852 075-414-5815

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校生ベーシックマスター支援事業費		
予算額	46,852 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 生徒一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と、学校生活の基礎・基本の向上と定着を図り、高校生が夢を持てる魅力ある学校づくりを推進する取組を支援する。		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	事業名	概要	事業費
	【拡充】 新入生アシストセミナー	・新入生を対象として、高校生としての基本的な規律を身につけ、高校における学習習慣の基本を身につけるための取組を支援	1,560
	■ 学力向上ベーシックプラン		
	基礎学力補習	・学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を目指す取組を支援	1,030
	■ 学力向上アドバンスプラン		
	進路補習	・生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得等促進に向けた取組を支援	2,930
	学習合宿	・夏季・冬季休業期間中等に学習合宿を実施し、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図り、希望進路の実現に必要な学力を育成	14,000
	大学連携教育プログラム	・大学コンソーシアム京都と連携し、高校の企画に適した大学や教授をコーディネートし、魅力ある学習を支援	348
社会人講師活用事業	・大学の研究者、専門性の高い職業人など、外部人材を授業で活用し、生徒の学習意欲・学力向上を図る。	2,318	
大学生教育ボランティア活用事業	・教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助に活用する。	1,750	
府立高校実力テスト	・学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、適切な希望進路の実現に役立てる。	22,916	
合 計		46,852	
担当課名	高校教育課 振興担当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	豊かな心を育てる教育推進事業費																	
予算額	31,310千円	新規・継続の別	継続															
事業内容	<p>1 目的 体験活動等を通じて、子どもたちに豊かな人間性をはぐくむため、家庭や地域社会等との連携を図りながら、総合的な施策を推進する。</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="357 1037 1458 1720"> <thead> <tr> <th data-bbox="357 1037 684 1099">事項</th> <th data-bbox="684 1037 1299 1099">内容</th> <th data-bbox="1299 1037 1458 1099">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="357 1099 684 1283">KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業</td> <td data-bbox="684 1099 1299 1283">府内の小・中学校で実施 ・地域の伝統や文化に関する体験活動 ・仕事に関する体験活動</td> <td data-bbox="1299 1099 1458 1283">17,500</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1283 684 1408">子どもの読書活動の推進</td> <td data-bbox="684 1283 1299 1408">・子ども読書本のしおりコンテストの実施 ・読書登録システムの運営</td> <td data-bbox="1299 1283 1458 1408">1,157</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1408 684 1655">「京の子ども 明日へのとびら」の作成等</td> <td data-bbox="684 1408 1299 1655">心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集の作成等、豊かな心を育てる育てる事業</td> <td data-bbox="1299 1408 1458 1655">12,653</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="357 1655 1299 1720">計</td> <td data-bbox="1299 1655 1458 1720">31,310</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業	府内の小・中学校で実施 ・地域の伝統や文化に関する体験活動 ・仕事に関する体験活動	17,500	子どもの読書活動の推進	・子ども読書本のしおりコンテストの実施 ・読書登録システムの運営	1,157	「京の子ども 明日へのとびら」の作成等	心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集の作成等、豊かな心を育てる育てる事業	12,653	計		31,310
事項	内容	事業費																
KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業	府内の小・中学校で実施 ・地域の伝統や文化に関する体験活動 ・仕事に関する体験活動	17,500																
子どもの読書活動の推進	・子ども読書本のしおりコンテストの実施 ・読書登録システムの運営	1,157																
「京の子ども 明日へのとびら」の作成等	心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集の作成等、豊かな心を育てる育てる事業	12,653																
計		31,310																
担当課名	学校教育課 指導第2担当 社会教育課 社会教育主事	電話番号	075-414-5840 075-414-5889															

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	こころを育む古典の日推進事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 対象 方法等	<p>1 目的 古典の日(11月1日)を中心に、小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を行うことにより、児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図る。</p> <p>2 内容 ◆小・中学生による朗読・暗唱大会の開催 ▷源氏物語をはじめ伝統的な言語文化に関する古典作品等の朗読・暗唱 ▷児童生徒の随筆・小論文等の音読発表、プレゼンテーションによる学習成果の発表 ▷言語力の育成等に関する講演等 ▷高校生や保護者・地域の方などより多くの方が参加できる大会として教育局ごとに実施</p> <p>3 その他の取組 授業で古典を取り上げるほか、様々な場面で古典に関する取組を実施 ▷学校での取組例 ・全校音読・朗読大会の開催 ・百人一首かるた大会の開催 ・古典に関する随筆・小論文、プレゼンテーション作品の製作 ・京都にゆかりの題材をもとに歴史探訪(フィールドワーク)を実施 ・学校図書館での「古典の日」読書コーナーの設置 ・大学教授等による講演会、雅楽、能、狂言などの鑑賞及び体験</p>		
担当課名	学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5840

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	高校生伝統文化事業費											
予算額	20,000千円	新規・継続の別	継続									
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成にあたり、京都府にゆかりの深い茶道や華道及び古典にまつわる活動を取り上げ、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力を育む。</p> <p>2 内容 茶道・華道・古典を通して伝統文化の学習を推進する。 ○京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心の育成 ○礼儀作法を通じての、規範意識や社会性の育成 ○人を思いやり、尊重する心の育成 ○豊かな感性、情緒の育成 ○優れた価値を有する古典に親しむ心と態度の育成</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="336 1317 1410 1771"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶道・華道を通しての伝統文化の学習</td> <td>◆ 茶道 全府立高校46校で実施 ◆ 華道 府立高校15校程度で実施</td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td>古典を通しての伝統文化の学習</td> <td>◆ 府立高校10校程度で実施</td> <td>4,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※商工労働観光部所管の高校生・和装文化普及体験事業と連携を図り、伝統文化の学習を推進。</p>			事項	内容	事業費	茶道・華道を通しての伝統文化の学習	◆ 茶道 全府立高校46校で実施 ◆ 華道 府立高校15校程度で実施	16,000	古典を通しての伝統文化の学習	◆ 府立高校10校程度で実施	4,000
事項	内容	事業費										
茶道・華道を通しての伝統文化の学習	◆ 茶道 全府立高校46校で実施 ◆ 華道 府立高校15校程度で実施	16,000										
古典を通しての伝統文化の学習	◆ 府立高校10校程度で実施	4,000										
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852									

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	高校生「京の文化力」推進事業費			
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 府立高校の文化部活動への支援等を通じて、京都文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむ。			
	2 内容 (単位：千円)			
		事項	内容	事業費
	文化の次世代への継承	高校文化部の強化指定による育成 ----- 小・中学生への文化の継承	◆強化・育成を目指す高校の文化部を指定(18部門) ◆高い専門性を有する外部指導者による指導 ----- ◆強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加 ◆京都の文化を次世代に継承	4,000
	芸術文化活動の推進・京都府高等学校芸術文化連盟への助成	◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等	6,000	
《18部門》 演劇、合唱、吹奏楽、器楽、邦楽、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、吟詠剣詩舞、郷土芸能、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、茶道				
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852	

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	文化財対策費		
予算額	1,735,613千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 京都府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。		
	2 事業内容 (単位：千円)		
	事業名	内 容	事業費
	歴史的建造物等保存伝承事業費	国指定文化財、府指定・登録文化財等の保存事業を行い、歴史的建造物等の保存・継承を図る。	1,692,734
	建造物保存修理受託事業費	国指定文化財建造物の受託修理	1,549,336
	建造物保存修理現場公開事業費	文化財保護に係る普及啓発のため、修理現場の公開を実施	1,000
	指定文化財等保存修理補助金	国及び府指定文化財等所有者が行う保存修理事業等に補助	68,000
	指定文化財等維持管理費補助事業費	国及び府指定文化財等所有者が行う維持管理事業等に補助	46,300
	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金	重要伝統的建造物群保存地区保存事業を行う市町に対する補助	6,900
	祇園祭山鉾保存修理事業費等補助金	重要有形民俗文化財である山鉾について山鉾保存会が行う緊急修理の負担軽減等	21,198
	埋蔵文化財調査保存事業費	発掘調査の実施及び市町村が行う調査等へ補助し、文化財の保存・継承を図る。	42,879
	埋蔵文化財発掘調査費	農地などの開発事業に伴う発掘調査等を実施	2,100
	恭仁宮跡保存活用調査費	発掘調査成果を府民に還元するとともに、保存・活用に向けた遺構調査を実施	5,000
	埋蔵文化財発掘調査費等補助金	開発等に伴う緊急発掘調査や史跡買上等を行う市町村に対する補助	35,779
	計		1,735,613
担当課名	文化財保護課 企画調整担当 建造物担当 管理調査担当 記念物担当	電話番号	075-414-5896 075-414-5898 075-414-5901 075-414-5903

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費 (建造物保存修理受託事業費)			
予算額	1,549,336千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	◆ <u>京都府内の国宝・重要文化財建造物を受託修理（継続）</u>			
	1 目的 国庫補助を受けて行われる国宝・重要文化財建造物の保存修理について、文化財所有者からの委託を受けて、府が直営により実施			
	2 事業内容			
	文化財の名称	種別	工事種別	25年度の主な内容
	ちおんいん ほんどう しゅうえどう 知恩院（本堂・集會堂他）	国宝 重文	半解体修理 他	本堂の小屋組修理・解体等 他
	きよみずでら ほんどう 清水寺（本堂他）	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理他	轟門の解体修理、奥院・阿 弥陀堂の半解体修理等
	にんなじ かんのもんどう 仁和寺（観音堂他）	重文	半解体修理 他	観音堂の半解体修理、屋根 葺替、木部補修等
	うらせんけじゅうたく 裏千家住宅	重文	解体修理他	解体修理、建具補修等
	かもわけいかづちじんじや ほんでん 賀茂別雷神社（本殿他） 〔上賀茂神社〕	国宝	屋根葺替・ 部分修理	本殿、権殿等の屋根葺替、 木部・壁補修等
	かもみおやじんじや あずかりや 賀茂御祖神社（預り屋他） 〔下鴨神社〕	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理	東西本殿等の屋根葺替、木 部・壁補修等
	けんにもんじ ほうじょう 建仁寺（方丈）	重文	屋根葺替・ 部分修理	木部・壁補修等
	びやうどういん ほうおうどうちゅうどう 平等院（鳳凰堂中堂他）	国宝	屋根葺替・ 部分修理他	屋根葺替、塗装、木部補修、 漆喰壁上塗り等
	うじがみじんじや ほんでん 宇治上神社（本殿他）	国宝	屋根葺替・ 部分修理	屋根葺替、木部・壁補修等
きゅうみついきしもがもべつてい 旧三井家下鴨別邸 （主屋ほか） しゅおく	重文	屋根葺替・ 部分修理	主屋等の屋根葺替、茶室の 半解体修理等	
計		10件	1,549,336千円	
担当課名	文化財保護課 建造物担当	電話番号	075-414-5898	

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	競技スポーツ振興事業費										
予算額	230,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的</p> <p>トップアスリートや国体選手の養成強化を支援することで、府民スポーツの更なる振興と競技力の向上を図り、京都府におけるスポーツの飛躍的發展を期す。</p> <p>また、ジュニア選手の育成強化を図り、中長期的視点で本府競技力の維持・向上を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="405 1137 1398 1816"> <thead> <tr> <th data-bbox="405 1137 737 1225">事 項</th> <th data-bbox="737 1137 1398 1225">概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="405 1225 737 1435">パワフル京都推進事業</td> <td data-bbox="737 1225 1398 1435">日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 1435 737 1603">国体選手養成強化事業</td> <td data-bbox="737 1435 1398 1603">国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援</td> </tr> <tr> <td data-bbox="405 1603 737 1816">ジュニア選手育成強化事業</td> <td data-bbox="737 1603 1398 1816">ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成</td> </tr> </tbody> </table>			事 項	概 要	パワフル京都推進事業	日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施	国体選手養成強化事業	国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援	ジュニア選手育成強化事業	ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成
事 項	概 要										
パワフル京都推進事業	日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施										
国体選手養成強化事業	国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援										
ジュニア選手育成強化事業	ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成										
担当課・担当名	保健体育課 スポーツ振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5864								

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	日本代表・トップアスリート交流事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 京都のスポーツ施設を有効活用し、身近にトップレベルの練習を見学したり指導を受ける機会を設けるなどし、子どもたちに夢と感動を与え、積極的にスポーツに参加する意欲を喚起する。</p> <p>2 内容 各競技のナショナルチームや海外チームを京都に招聘し、練習の見学会などを開催することで、児童生徒等がトップアスリートと触れ合う機会を設ける。</p> <p>3 対象 府内在住の小学校高学年児童並びに中学校及び高等学校生徒</p> <p>(参考) 平成24年度招聘チーム ○台湾U16女子代表（ソフトボール） ○大韓民国カヌースプリントジュニア代表チーム ○日本カヌー連盟カヌースプリントジュニア代表チーム など</p>		
担当課・担当名	保健体育課 スポーツ振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5864

平成25年度当初予算案 主要事項説明

教育委員会

事業名	京都フレックス学園整備事業費 (府立学校施設整備費)														
予算額	389,170千円	新規・継続の別	継続												
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 生徒一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばすため、生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応する新しいタイプの教育を推進</p> <p>京都フレックス学園構想の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ①従来の全日制・定時制高校の概念を超える自由なスタイル ②いつでも誰でも学べる柔軟な教育内容 ③外部機関とつながるトータルサポート～学習・就労・自立支援 <p>2 事業概要 生徒の多様な志望動機や学習経験などに対応できる柔軟な教育システムをもつ新しいタイプの高校“フレックスハイスクール”を京都市内に新設（平成27年4月開校予定）</p> <table border="1" data-bbox="395 1216 1407 1532"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>年次計画</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">京都市北区小山南大野町</td> <td>②4 基本・実施設計</td> <td>120,000千円</td> </tr> <tr> <td>②5 校舎新築工事</td> <td>389,170千円</td> </tr> <tr> <td>②6 校舎新築工事</td> <td>1,556,800千円 (債務負担行為)</td> </tr> <tr> <td>②7 開校</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>新築建物面積：約7,200㎡（校舎棟約6,300㎡、体育館約900㎡） 既存建物改修：約800㎡（体育振興施設） 屋外運動場：約5,500㎡、多目的コート約500㎡</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・可動間仕切により分割等が可能な普通教室、多目的教室 ・個人学習できる自習、読書スペース ・地域開放型カフェテリア、教育相談室（複数配置） 			設置場所	年次計画	事業費	京都市北区小山南大野町	②4 基本・実施設計	120,000千円	②5 校舎新築工事	389,170千円	②6 校舎新築工事	1,556,800千円 (債務負担行為)	②7 開校	
設置場所	年次計画	事業費													
京都市北区小山南大野町	②4 基本・実施設計	120,000千円													
	②5 校舎新築工事	389,170千円													
	②6 校舎新築工事	1,556,800千円 (債務負担行為)													
	②7 開校														
担当課名	管理課 高校教育課	管理担当 高校改革担当	電話番号 075-414-5768 075-414-5853												

平成25年度当初予算案 主要事項説明

教育委員会

事業名	府立鴨沂高校校舎等整備費 (府立学校施設整備費)																																						
予算額	393,159千円	新規・継続の別	新規																																				
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>新島八重も勤務した、明治5年創立の「新英学校及び女紅場」(鴨沂高校の前身)から受け継ぐ伝統と歴史を継承した新しい学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化の薫り高い、豊かな教養人の育成 ・京都らしい文化・芸術の拠点校 <p>1 目的 鴨沂高校校舎等について、全面改築による耐震化を図り、安心・安全な教育環境を整備</p> <p>2 事業概要 改築に係る基本・実施設計及び解体工事(南敷地)を実施</p> <p>基本・実施設計に当たっての考え方</p> <p>①多様なニーズに応える教育活動を実現する新しい教育施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境整備、芸術系特別教室の充実 ・校舎、体育館、屋内プール等を現校地で改築 <p>②歴史的・文化的価値の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外観意匠及び特徴的な内部空間の継承を検討(正門、校舎外観、茶室等) <table border="1" data-bbox="416 1155 1433 1610"> <thead> <tr> <th>概要</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築工事</td> <td>基本・実施設計 解体工事(南敷地)</td> <td>基本・実施設計 建設工事</td> <td>建設工事 解体工事(北敷地)</td> <td>建設工事 夏頃竣工予定</td> </tr> <tr> <td>埋蔵文化財調査</td> <td></td> <td>埋文調査(南敷地)</td> <td>埋文調査(北敷地)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮校舎※</td> <td>改修工事 9月～仮校舎利用</td> <td>(仮校舎利用)</td> <td>(仮校舎利用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>393,159千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">債務負担行為：基本・実施設計 ②⑥</td> <td>73,884千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">仮校舎借上 ②⑥～②⑧</td> <td>182,700千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※前京都産業大学附属中学校・高等学校校舎を借用</p> <p><参考 鴨沂高校沿革></p> <ul style="list-style-type: none"> 明治5(1872)年 「新英学校及び女紅場」創立 明治20(1887)年 京都府高等女学校と改称 明治33(1900)年 現校地(上京区寺町通荒神口)に移転 明治37(1904)年 京都府立第一高等女学校と改称 大正12(1923)年 京都府立京都第一高等女学校と改称 昭和23(1948)年 学制改革により府立鴨沂高等学校として発足 				概要	25年度	26年度	27年度	28年度	改築工事	基本・実施設計 解体工事(南敷地)	基本・実施設計 建設工事	建設工事 解体工事(北敷地)	建設工事 夏頃竣工予定	埋蔵文化財調査		埋文調査(南敷地)	埋文調査(北敷地)		仮校舎※	改修工事 9月～仮校舎利用	(仮校舎利用)	(仮校舎利用)		事業費	393,159千円					債務負担行為：基本・実施設計 ②⑥		73,884千円			仮校舎借上 ②⑥～②⑧		182,700千円	
概要	25年度	26年度	27年度	28年度																																			
改築工事	基本・実施設計 解体工事(南敷地)	基本・実施設計 建設工事	建設工事 解体工事(北敷地)	建設工事 夏頃竣工予定																																			
埋蔵文化財調査		埋文調査(南敷地)	埋文調査(北敷地)																																				
仮校舎※	改修工事 9月～仮校舎利用	(仮校舎利用)	(仮校舎利用)																																				
事業費	393,159千円																																						
	債務負担行為：基本・実施設計 ②⑥		73,884千円																																				
	仮校舎借上 ②⑥～②⑧		182,700千円																																				
担当課名	管理課 高校教育課	管理担当 高校改革担当	電話番号	075-414-5768 075-414-5853																																			

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		
予算額	220,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 小・中学校の通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備などを先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。 ※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 教員配置 発達障害のある児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として100名配置</p> <p>(2) 配置効果 ○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保 ○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成 ○一人一人の状況に応じた指導の推進</p>		
担当課名	教職員課 人事担当 特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5835

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校特別支援教育支援員配置事業費						
予算額	4,896千円	新規・継続の別	新規				
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 目的</p> <p>府立高校に在籍する発達障害等がある生徒への支援体制を整備し、府立高校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校特別支援教育支援員を配置する。</p> <table border="1" data-bbox="427 1249 1375 1675"> <tr> <td data-bbox="427 1249 683 1429">配置形態</td> <td data-bbox="683 1249 1375 1429">府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師2名程度】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1429 683 1675">活用方法</td> <td data-bbox="683 1429 1375 1675">実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)</td> </tr> </table>			配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師2名程度】	活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)
配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師2名程度】						
活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)						
担当課名	教職員課 人事担当 高校教育課 指導第1担当 特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5851 075-414-5835				

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育総合推進事業費		
予算額	28,456千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的</p> <p>発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、一貫した支援を総合的に行う。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 特別支援教育サポート拠点(宇治支援学校内に設置)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育に係る研修・研究の拠点として、教員への体験型専門研修や研究を実施 ・ 医師や作業療法士等からなる「スーパーサポートチーム」を活用した相談・支援を実施 ・ 視覚・聴覚障害のある子どもへの相談・支援を実施 <p>(2) 地域等連携推進事業〔拡充〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての特別支援学校に地域支援センターを設置し、専任の地域支援コーディネーターを配置し、教育相談を実施 ・ 校医、地域の福祉関係者、小・中学校及び特別支援学校教員等からなる巡回相談支援チームを組織し、教育相談を実施 ・ キャリア教育の充実及びインクルーシブ教育システム構築に係る実践研究〈新規〉 <p>(3) ボランティア活動推進事業</p> <p>ボランティア養成講座や児童生徒によるボランティア活動を実施</p> <p>(4) 文化スポーツ交流事業</p> <p>児童生徒が、文化芸術に直接親しむ機会や、文化芸術を発表し自己表現する機会を創出</p> <p>(5) 医療的ケア体制充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府教育委員会・医療的ケア担当者・関係機関で構成する医療的ケア実施体制整備委員会を設置 ・ 各特別支援学校において医療的ケアを実施するため、改正後の社会福祉士及び介護福祉士法による喀痰等吸引研修を実施するとともに、安全を確保するため、校内委員会を設置して実施体制を整備 <p>(6) 職業教育充実検討事業〔新規〕</p> <p>特別支援学校高等部における職業教育の在り方及び充実策等について、有識者による意見を聴取する会議を設置し、検討を行う。</p>		
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当	課・担当 電話番号	075-414-5835

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	就労支援事業費		
予算額	9,300千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的</p> <p>障害のある生徒の自立と社会参加を促進するため、特別支援学校高等部の職業教育の充実を図るとともに、積極的な企業訪問や啓発を通して、職場開拓や実習先の確保に努める。</p> <p>2 内容</p>		
〔目的対象方法等〕	事項	事業内容	
	「ふれあい・心のステーション」	内容 府立特別支援学校全11校が参加 生徒が自ら製作品の販売実習・実演を行い、 府民との交流や企業の理解啓発を図る。 (窯業・木工・縫製・農産品等) 時期 平成25年9月(障害者雇用支援月間) 場所 大丸京都店(予定)	
	特別支援学校高等部生徒の就労支援	内容 進路指導担当教員等がハローワーク等と連携し、新しい職場の開拓や現場実習の受入先の確保に一層取り組めるよう、非常勤講師を配置する。	
担当課名	特別支援教育課 教職員課	指導推進担当 企画調整担当	課・担当 電話番号 075-414-5835 075-414-5789

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	「もうすぐ1年生」体験入学推進費		
予算額	3,750千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的 小学校入学後の生活・学習習慣の変化に対応することができない「小1プロブレム」の児童が増加していることを踏まえ、小学校において体験入学事業を推進することにより、保育所、幼稚園から小学校への円滑な接続を図る。</p> <p>2 内容 体験入学事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村が実施する体験入学事業への助成 ◆ 対象：体験入学事業を実施する府内の小学校 ◆ 負担割合：府1/2、市町村1/2 ◆ 対象内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度の新1年生を対象とした1週間程度の体験入学 ・ 実施方法等を検討する推進協議会の設置 		
目的 対象 方法等			
担当課名	学校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5842

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	京の若者未来支援事業費								
予算額	12,000千円	新規・継続の別	新規						
事業内容	<p>1 目的 府立高校全生徒を対象として仕事体験などの実践的キャリア教育を展開し、生徒の主体的な進路選択と希望する職業への就職実現を図る。</p> <p>2 内容 「京都キャリア教育推進協議会」や京都ジョブパークと連携し、生徒が主体的・能動的に行うグループワークやインターンシップ等のキャリア教育を実施</p> <table border="1" data-bbox="416 902 1406 1794"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間企業社員・起業家を招いたグループワーク等</td> <td> <p>【目的】 様々な職業について知り、進路選択や将来の職業選択についての知識を深め、生徒の主体的な進路選択に資する。</p> <p>【内容】 様々な業種の企業から社員等を講師として招き、生徒が興味のある業種を選択し、少人数のグループワークを実施</p> </td> </tr> <tr> <td>インターンシップ・職場体験等</td> <td> <p>【目的】 生徒が自らの将来展望に応じた就業体験を行うことにより、自らの適性を知るとともに、具体的な職業選択へとつなげる。</p> <p>【内容】 生徒自らが職業体験プログラムを企画するなど、希望する業種や企業での就業体験を生徒が主体的に実施</p> </td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	民間企業社員・起業家を招いたグループワーク等	<p>【目的】 様々な職業について知り、進路選択や将来の職業選択についての知識を深め、生徒の主体的な進路選択に資する。</p> <p>【内容】 様々な業種の企業から社員等を講師として招き、生徒が興味のある業種を選択し、少人数のグループワークを実施</p>	インターンシップ・職場体験等	<p>【目的】 生徒が自らの将来展望に応じた就業体験を行うことにより、自らの適性を知るとともに、具体的な職業選択へとつなげる。</p> <p>【内容】 生徒自らが職業体験プログラムを企画するなど、希望する業種や企業での就業体験を生徒が主体的に実施</p>
事項	内容								
民間企業社員・起業家を招いたグループワーク等	<p>【目的】 様々な職業について知り、進路選択や将来の職業選択についての知識を深め、生徒の主体的な進路選択に資する。</p> <p>【内容】 様々な業種の企業から社員等を講師として招き、生徒が興味のある業種を選択し、少人数のグループワークを実施</p>								
インターンシップ・職場体験等	<p>【目的】 生徒が自らの将来展望に応じた就業体験を行うことにより、自らの適性を知るとともに、具体的な職業選択へとつなげる。</p> <p>【内容】 生徒自らが職業体験プログラムを企画するなど、希望する業種や企業での就業体験を生徒が主体的に実施</p>								
目的 対象 方法等									
担当課名	高校教育課 指導第2担当 振興担当	電話番号	075-414-5852 075-414-5815						

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	読書活動推進事業費																																											
予算額	5,000千円	新規・継続の別	継続																																									
事業内容	<p>1 目的 京都府子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）に基づき、子どもの読書活動を一層推進することにより、豊かな心の育成や「ことばの力」の向上を図る。</p> <p>2 内容 調べ学習に役立つ図書を府立図書館において整備し、「学校支援セット」としてメニュー化して、府内の公立図書館を通じて小・中学校、高等学校等に貸し出す。</p>																																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的 対象 方法等 </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 30%;">大テーマ</th> <th style="width: 60%;">小テーマ（主なもの）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">小 中 学 校 版</td> <td>環 境</td> <td>地球温暖化、ごみ、エコ、エネルギー</td> </tr> <tr> <td>古 典</td> <td>物語・詩歌、伝統芸能</td> </tr> <tr> <td>こ と ば</td> <td>表現、朗読・素読、語彙・読解力、英語</td> </tr> <tr> <td>食育・健康</td> <td>日本の食、世界の食、健康</td> </tr> <tr> <td>福祉・人権</td> <td>ボランティア、ユニバーサルデザイン、人権</td> </tr> <tr> <td>国際理解</td> <td>世界と日本、国際協力、国際平和・戦争</td> </tr> <tr> <td>仕 事</td> <td>職業体験、職業ガイド</td> </tr> <tr> <td>自然科学</td> <td>宇宙、数、動物・植物・昆虫、おもしろ実験</td> </tr> <tr> <td>防 災</td> <td>自然災害、安全対策</td> </tr> <tr> <td>歴史・社会</td> <td>人物、昔の暮らし、京都の昔話・歴史</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center; vertical-align: middle;">高 校 版</td> <td>環 境</td> <td>地球温暖化・環境危機、エネルギー・循環</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉</td> <td>人体・予防医学、病気、社会保障</td> </tr> <tr> <td>教 育</td> <td>読書、リテラシー教育、若者論・思春期心理</td> </tr> <tr> <td>文 化</td> <td>伝統文化(茶道・華道)、世界遺産、各国の文化</td> </tr> <tr> <td>国際社会</td> <td>国際協力・NPO・NGO、世界情勢、情報化社会</td> </tr> <tr> <td>仕 事</td> <td>仕事観、職種、企業・起業、ワークライフバランス</td> </tr> <tr> <td>自然科学</td> <td>宇宙、素粒子、数学、バイオテクノロジー、実験</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>防災、スポーツ、京都、古典文学、産業</td> </tr> </tbody> </table>			区分	大テーマ	小テーマ（主なもの）	小 中 学 校 版	環 境	地球温暖化、ごみ、エコ、エネルギー	古 典	物語・詩歌、伝統芸能	こ と ば	表現、朗読・素読、語彙・読解力、英語	食育・健康	日本の食、世界の食、健康	福祉・人権	ボランティア、ユニバーサルデザイン、人権	国際理解	世界と日本、国際協力、国際平和・戦争	仕 事	職業体験、職業ガイド	自然科学	宇宙、数、動物・植物・昆虫、おもしろ実験	防 災	自然災害、安全対策	歴史・社会	人物、昔の暮らし、京都の昔話・歴史	高 校 版	環 境	地球温暖化・環境危機、エネルギー・循環	医療・福祉	人体・予防医学、病気、社会保障	教 育	読書、リテラシー教育、若者論・思春期心理	文 化	伝統文化(茶道・華道)、世界遺産、各国の文化	国際社会	国際協力・NPO・NGO、世界情勢、情報化社会	仕 事	仕事観、職種、企業・起業、ワークライフバランス	自然科学	宇宙、素粒子、数学、バイオテクノロジー、実験	そ の 他	防災、スポーツ、京都、古典文学、産業
	区分	大テーマ	小テーマ（主なもの）																																									
	小 中 学 校 版	環 境	地球温暖化、ごみ、エコ、エネルギー																																									
		古 典	物語・詩歌、伝統芸能																																									
		こ と ば	表現、朗読・素読、語彙・読解力、英語																																									
		食育・健康	日本の食、世界の食、健康																																									
		福祉・人権	ボランティア、ユニバーサルデザイン、人権																																									
		国際理解	世界と日本、国際協力、国際平和・戦争																																									
		仕 事	職業体験、職業ガイド																																									
		自然科学	宇宙、数、動物・植物・昆虫、おもしろ実験																																									
		防 災	自然災害、安全対策																																									
		歴史・社会	人物、昔の暮らし、京都の昔話・歴史																																									
	高 校 版	環 境	地球温暖化・環境危機、エネルギー・循環																																									
		医療・福祉	人体・予防医学、病気、社会保障																																									
教 育		読書、リテラシー教育、若者論・思春期心理																																										
文 化		伝統文化(茶道・華道)、世界遺産、各国の文化																																										
国際社会		国際協力・NPO・NGO、世界情勢、情報化社会																																										
仕 事		仕事観、職種、企業・起業、ワークライフバランス																																										
自然科学		宇宙、素粒子、数学、バイオテクノロジー、実験																																										
そ の 他		防災、スポーツ、京都、古典文学、産業																																										
担当課名	社会教育課 振興担当	電話番号	075-414-5884																																									

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校生グローバルチャレンジ500事業費														
予算額	224,506千円	新規・継続の別	継続												
事業内容 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">目的</div> <div style="margin-bottom: 10px;">対象</div> <div>方法等</div> </div>	<p>高校生の海外語学研修や留学、京都グローバルコミュニケーション校の指定、英語指導助手の配置により、コミュニケーション能力と国際感覚を身に付けた国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。</p> <p>1 府立高校生グローバルチャレンジ事業</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">目的</td> <td>国際社会で活躍できる「グローバル人材」の育成に向けた海外留学の促進</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> ◇海外での語学研修(1ヶ月程度 20人) 友好提携を結んでいる英国・エディンバラ市でのスピーキング、リスニング、リーディングなど本格的な語学研修に助成 ◇英語圏での海外短期留学(1ヶ月程度 70人) 語学研修に加え、演劇やスポーツなど海外でチャレンジしたいことを実現するため、1ヶ月程度の短期留学に助成 ◇海外長期留学(原則1年間 10人) </td> </tr> </table> <p>➡ 年間100人を募集(平成24年度～5年間で500人を海外留学に)</p> <p>2 京都グローバルコミュニケーション校の指定</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">目的</td> <td>国際色豊かな京都府ならではの国際感覚とコミュニケーション能力の育成</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> 留学生や訪日旅行生との交流など異文化を理解し尊重する資質・能力を育成する取組を推進 英語力向上に向けた取組を実施し、英検準2級以上相当の生徒数の増加を目指すとともに、成果を他校に波及 </td> </tr> </table> <p>3 英語指導助手(AET)の配置</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">目的</td> <td>外国語による実践的なコミュニケーション能力の充実</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>JETプログラムによる英語指導助手を全府立高校に配置</td> </tr> </table>			目的	国際社会で活躍できる「グローバル人材」の育成に向けた海外留学の促進	内容	◇海外での語学研修(1ヶ月程度 20人) 友好提携を結んでいる英国・エディンバラ市でのスピーキング、リスニング、リーディングなど本格的な語学研修に助成 ◇英語圏での海外短期留学(1ヶ月程度 70人) 語学研修に加え、演劇やスポーツなど海外でチャレンジしたいことを実現するため、1ヶ月程度の短期留学に助成 ◇海外長期留学(原則1年間 10人)	目的	国際色豊かな京都府ならではの国際感覚とコミュニケーション能力の育成	内容	留学生や訪日旅行生との交流など異文化を理解し尊重する資質・能力を育成する取組を推進 英語力向上に向けた取組を実施し、英検準2級以上相当の生徒数の増加を目指すとともに、成果を他校に波及	目的	外国語による実践的なコミュニケーション能力の充実	内容	JETプログラムによる英語指導助手を全府立高校に配置
	目的	国際社会で活躍できる「グローバル人材」の育成に向けた海外留学の促進													
	内容	◇海外での語学研修(1ヶ月程度 20人) 友好提携を結んでいる英国・エディンバラ市でのスピーキング、リスニング、リーディングなど本格的な語学研修に助成 ◇英語圏での海外短期留学(1ヶ月程度 70人) 語学研修に加え、演劇やスポーツなど海外でチャレンジしたいことを実現するため、1ヶ月程度の短期留学に助成 ◇海外長期留学(原則1年間 10人)													
	目的	国際色豊かな京都府ならではの国際感覚とコミュニケーション能力の育成													
	内容	留学生や訪日旅行生との交流など異文化を理解し尊重する資質・能力を育成する取組を推進 英語力向上に向けた取組を実施し、英検準2級以上相当の生徒数の増加を目指すとともに、成果を他校に波及													
	目的	外国語による実践的なコミュニケーション能力の充実													
	内容	JETプログラムによる英語指導助手を全府立高校に配置													
	担当課名	高校教育課 振興担当	電話番号	075-414-5815											

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	心のサポート推進事業費																																												
予算額	319,465千円	新規・継続の別	新規・継続																																										
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 いじめ、不登校等の問題行動や少年による凶悪犯罪の発生などが社会問題となっていることを踏まえ、学校等における児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制（相談体制）を充実するとともに、いじめ、不登校対策や生徒指導の充実を図る。																																												
	2 内容 (単位：千円)																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">○いじめ対策の充実</td> </tr> <tr> <td>緊急いじめ対策事業費</td> <td>いじめの早期発見、早期解決によりいじめを学校から無くすための対策</td> <td>274,250</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○教育相談体制の充実</td> </tr> <tr> <td>トータルアドバイザーセンター教育相談</td> <td>・精神科医、臨床心理士などの教育相談 ・電話・来所・巡回による教育相談 ・子どものころセミナー、教育相談実技講座の開催</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>家庭教育相談</td> <td>・家庭教育カウンセラーの派遣、巡回相談の実施 ・家庭教育に係る電話相談の実施</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>24時間電話相談</td> <td>24時間体制での電話相談の実施</td> <td>15,420</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○不登校対策の充実</td> </tr> <tr> <td>生徒指導・進路指導総合推進</td> <td>不登校等の未然防止、早期発見・早期対応のための効果的な取組についての特色ある実践研究</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>フリースクール連携推進</td> <td>・フリースクールと学校との連携のあり方、施設での学習評価等実践研究 ・認定フリースクールが実施する学校と連携した教育活動への助成</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>ふれあい宿泊学習</td> <td>不登校傾向にある児童生徒を対象に少年自然の家で宿泊合宿を実施</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○生徒指導の充実</td> </tr> <tr> <td>「魅力ある学校づくり」調査研究</td> <td>問題行動の未然防止につながる、児童生徒にとって魅力ある学校づくりの取組を研究</td> <td>595</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>319,465</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	○いじめ対策の充実			緊急いじめ対策事業費	いじめの早期発見、早期解決によりいじめを学校から無くすための対策	274,250	○教育相談体制の充実			トータルアドバイザーセンター教育相談	・精神科医、臨床心理士などの教育相談 ・電話・来所・巡回による教育相談 ・子どものころセミナー、教育相談実技講座の開催	6,000	家庭教育相談	・家庭教育カウンセラーの派遣、巡回相談の実施 ・家庭教育に係る電話相談の実施	8,000	24時間電話相談	24時間体制での電話相談の実施	15,420	○不登校対策の充実			生徒指導・進路指導総合推進	不登校等の未然防止、早期発見・早期対応のための効果的な取組についての特色ある実践研究	11,000	フリースクール連携推進	・フリースクールと学校との連携のあり方、施設での学習評価等実践研究 ・認定フリースクールが実施する学校と連携した教育活動への助成	1,200	ふれあい宿泊学習	不登校傾向にある児童生徒を対象に少年自然の家で宿泊合宿を実施	3,000	○生徒指導の充実			「魅力ある学校づくり」調査研究	問題行動の未然防止につながる、児童生徒にとって魅力ある学校づくりの取組を研究	595	計		319,465
	事項	内容	事業費																																										
	○いじめ対策の充実																																												
	緊急いじめ対策事業費	いじめの早期発見、早期解決によりいじめを学校から無くすための対策	274,250																																										
	○教育相談体制の充実																																												
	トータルアドバイザーセンター教育相談	・精神科医、臨床心理士などの教育相談 ・電話・来所・巡回による教育相談 ・子どものころセミナー、教育相談実技講座の開催	6,000																																										
	家庭教育相談	・家庭教育カウンセラーの派遣、巡回相談の実施 ・家庭教育に係る電話相談の実施	8,000																																										
	24時間電話相談	24時間体制での電話相談の実施	15,420																																										
	○不登校対策の充実																																												
	生徒指導・進路指導総合推進	不登校等の未然防止、早期発見・早期対応のための効果的な取組についての特色ある実践研究	11,000																																										
	フリースクール連携推進	・フリースクールと学校との連携のあり方、施設での学習評価等実践研究 ・認定フリースクールが実施する学校と連携した教育活動への助成	1,200																																										
	ふれあい宿泊学習	不登校傾向にある児童生徒を対象に少年自然の家で宿泊合宿を実施	3,000																																										
	○生徒指導の充実																																												
「魅力ある学校づくり」調査研究	問題行動の未然防止につながる、児童生徒にとって魅力ある学校づくりの取組を研究	595																																											
計		319,465																																											
担当課名	学校教育課 指導第2担当 高校教育課 指導第1担当 社会教育課 社会教育主事	電話番号	075-414-5840 075-414-5851 075-414-5885																																										

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	心のサポート推進事業費 (緊急いじめ対策事業費)																																												
予算額	274,250千円	新規・継続の別	新規・継続																																										
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 いじめの未然防止から早期発見、早期解決までの総合的対策の充実を図る。																																												
	2 内容 (単位：千円)																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">○いじめの芽を摘む緊急対策</td> </tr> <tr> <td>いじめ対策専門指導員等の派遣 【新規】</td> <td>未消いじめの早期解決やいじめの把握のため、いじめ対策専門指導員等を派遣し、学校の指導・支援に当たる。</td> <td>33,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○未然防止</td> </tr> <tr> <td>いのちとこころのコミュニケーション事業 【新規】</td> <td>NPO等の外部講師を学校に派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える。</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○早期発見・相談体制の充実</td> </tr> <tr> <td>スクールカウンセラーの配置 【拡充】</td> <td>・臨床心理士によるカウンセリング ・児童生徒、教職員・保護者への助言・援助 ・小学校への配置拡充(13校→17校程度) ・中学校、高校とも全校に配置 (高校配置時間拡充)</td> <td>211,163</td> </tr> <tr> <td>心の居場所サポーターの配置</td> <td>登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターを配置</td> <td>19,673</td> </tr> <tr> <td>ネットいじめ対策</td> <td>学校非公式サイトなどネット上の監視</td> <td>7,664</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○早期解決</td> </tr> <tr> <td>いじめ危機管理チームの派遣 【新規】</td> <td>深刻ないじめ事象が発生した学校へ、学校機能の回復や支援を行うためのチームを派遣</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3">○学校体制の強化</td> </tr> <tr> <td>いじめ対策検討のための有識者会議の設置 【新規】</td> <td>第三者調査委員会の在り方や、いじめ問題への対策について専門的見地から検討</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>274,250</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	○いじめの芽を摘む緊急対策			いじめ対策専門指導員等の派遣 【新規】	未消いじめの早期解決やいじめの把握のため、いじめ対策専門指導員等を派遣し、学校の指導・支援に当たる。	33,000	○未然防止			いのちとこころのコミュニケーション事業 【新規】	NPO等の外部講師を学校に派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える。	750	○早期発見・相談体制の充実			スクールカウンセラーの配置 【拡充】	・臨床心理士によるカウンセリング ・児童生徒、教職員・保護者への助言・援助 ・小学校への配置拡充(13校→17校程度) ・中学校、高校とも全校に配置 (高校配置時間拡充)	211,163	心の居場所サポーターの配置	登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターを配置	19,673	ネットいじめ対策	学校非公式サイトなどネット上の監視	7,664	○早期解決			いじめ危機管理チームの派遣 【新規】	深刻ないじめ事象が発生した学校へ、学校機能の回復や支援を行うためのチームを派遣	1,000	○学校体制の強化			いじめ対策検討のための有識者会議の設置 【新規】	第三者調査委員会の在り方や、いじめ問題への対策について専門的見地から検討	1,000	計		274,250
	事項	内容	事業費																																										
	○いじめの芽を摘む緊急対策																																												
	いじめ対策専門指導員等の派遣 【新規】	未消いじめの早期解決やいじめの把握のため、いじめ対策専門指導員等を派遣し、学校の指導・支援に当たる。	33,000																																										
	○未然防止																																												
	いのちとこころのコミュニケーション事業 【新規】	NPO等の外部講師を学校に派遣し、人との関わり方やいのちの大切さを伝える。	750																																										
	○早期発見・相談体制の充実																																												
	スクールカウンセラーの配置 【拡充】	・臨床心理士によるカウンセリング ・児童生徒、教職員・保護者への助言・援助 ・小学校への配置拡充(13校→17校程度) ・中学校、高校とも全校に配置 (高校配置時間拡充)	211,163																																										
	心の居場所サポーターの配置	登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターを配置	19,673																																										
	ネットいじめ対策	学校非公式サイトなどネット上の監視	7,664																																										
	○早期解決																																												
	いじめ危機管理チームの派遣 【新規】	深刻ないじめ事象が発生した学校へ、学校機能の回復や支援を行うためのチームを派遣	1,000																																										
○学校体制の強化																																													
いじめ対策検討のための有識者会議の設置 【新規】	第三者調査委員会の在り方や、いじめ問題への対策について専門的見地から検討	1,000																																											
計		274,250																																											
担当課名	学校教育課 指導第2担当 高校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5840 075-414-5851																																										

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	少年非行防止対策事業費			
予算額	16,847千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 児童生徒の暴力行為等の問題行動の早期解決を図るため、未然防止の観点から対策を実施する。			
	2 内容			
		事 項	内 容	事業費
		小学校段階での問題行動等の未然防止の推進	「まなび・生活アドバイザー」の配置 課題を抱える児童に対する家庭支援などの個別指導及び生徒指導体制の強化 ※課題のある中学校の管内小学校に配置	13,347
		課題の多い中学校の生徒指導体制の強化	生徒指導緊急指導教員の配置 暴力行為の多発で課題のある中学校に緊急的に教員を配置し、生徒指導を強化 ※非常勤講師の配置	—
	地域全体で子どもを包み込みはぐくむ環境づくり	P T A、地域と連携した非行防止対策運動「絆キャンペーン」 地域の教育力を活かした声かけ・見守り運動の展開、保護者向け非行防止教室の実施	3,500	
		計	16,847	
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第2担当 社会教育課 社会教育主事	電話番号	075-414-5799 075-414-5840 075-414-5889	

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	集まれ未来の教員サポート事業費										
予算額	3,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 目的 優秀な教員を確保するため、教員志望者を対象とした教員としての実践力を養成する総合的かつ体系的なプログラムを実施する。										
	2 内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事 項</th> <th style="width: 80%;">概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生ボランティア</td> <td> 教員志望の大学生等による学校ボランティアへの支援 ○教員志望の大学生、短期大学生、大学院生 600名程度 ○通 年 </td> </tr> <tr> <td>教員養成サポートセミナー</td> <td> 教員志望者を対象に、大学と連携してインターンシップを実施 *インターンシップ：学生が一定期間学校で研修生等として働き、自分の進路に関連のある就業体験を行う制度 ○府教委と協定を結ぶ大学の3回生（または4回生、短大2回生） 100名程度 ○毎年6月～翌年1月（約8ヶ月） </td> </tr> <tr> <td>教師力養成講座</td> <td> 京都府教員を志望する大学生を対象に、教師力養成のための実務研修・講義等を実施 ○京都府の公立学校の教員志望者で、 ①大学3回生または大学院1回生等 ②教員養成サポートセミナー修了者又は学生ボランティア経験者等 ○60名程度（書類等による選考を実施） ○毎年2月～6月（約5ヶ月） </td> </tr> </tbody> </table>			事 項	概 要	学生ボランティア	教員志望の大学生等による学校ボランティアへの支援 ○教員志望の大学生、短期大学生、大学院生 600名程度 ○通 年	教員養成サポートセミナー	教員志望者を対象に、大学と連携してインターンシップを実施 *インターンシップ：学生が一定期間学校で研修生等として働き、自分の進路に関連のある就業体験を行う制度 ○府教委と協定を結ぶ大学の3回生（または4回生、短大2回生） 100名程度 ○毎年6月～翌年1月（約8ヶ月）	教師力養成講座	京都府教員を志望する大学生を対象に、教師力養成のための実務研修・講義等を実施 ○京都府の公立学校の教員志望者で、 ①大学3回生または大学院1回生等 ②教員養成サポートセミナー修了者又は学生ボランティア経験者等 ○60名程度（書類等による選考を実施） ○毎年2月～6月（約5ヶ月）
	事 項	概 要									
	学生ボランティア	教員志望の大学生等による学校ボランティアへの支援 ○教員志望の大学生、短期大学生、大学院生 600名程度 ○通 年									
教員養成サポートセミナー	教員志望者を対象に、大学と連携してインターンシップを実施 *インターンシップ：学生が一定期間学校で研修生等として働き、自分の進路に関連のある就業体験を行う制度 ○府教委と協定を結ぶ大学の3回生（または4回生、短大2回生） 100名程度 ○毎年6月～翌年1月（約8ヶ月）										
教師力養成講座	京都府教員を志望する大学生を対象に、教師力養成のための実務研修・講義等を実施 ○京都府の公立学校の教員志望者で、 ①大学3回生または大学院1回生等 ②教員養成サポートセミナー修了者又は学生ボランティア経験者等 ○60名程度（書類等による選考を実施） ○毎年2月～6月（約5ヶ月）										
担当課名	教職員課	評価・育成担当	電話番号 075-414-5784								

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	「教師力向上」地元パワー活用事業費							
予算額	12,000千円	新規・継続の別	継続					
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 地元京都の大学の持つ豊富な知的・人的財産を活用した最新の教育情報や企業等の優れたノウハウを活用した研修を実施し、教員の人材育成を図る。 ・子どもの学力向上に直結する指導方法 ・教職員のコミュニケーション能力や社会性の向上							
	2 内容							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 大 学 連携講座 </td> <td> ・新学習指導要領の全面実施、子どもの学力・生活に直結したさまざま課題 ・大量退職・大量採用時代の到来により生じる「授業力」の向上に関わる課題への対応 ○30講座程度 <主な連携大学> 京都大・京都教育大・佛教大・京都外国語大・京都産業大・大谷大・同志社女子大・京都学園大・京都橘大・京都ノートルダム女子大 等 </td> </tr> <tr> <td> 企 業 等 連携講座 </td> <td> ・地域や保護者との連携協力等の喫緊の教育課題と社会性の向上 ・企業の経営や人材育成の考え方を通して学ぶ学校組織の活性化 ○15講座程度 <民間企業、民間研究団体、シンクタンク 等> </td> </tr> </tbody> </table>			事項	概要	大 学 連携講座	・新学習指導要領の全面実施、子どもの学力・生活に直結したさまざま課題 ・大量退職・大量採用時代の到来により生じる「授業力」の向上に関わる課題への対応 ○30講座程度 <主な連携大学> 京都大・京都教育大・佛教大・京都外国語大・京都産業大・大谷大・同志社女子大・京都学園大・京都橘大・京都ノートルダム女子大 等	企 業 等 連携講座
事項	概要							
大 学 連携講座	・新学習指導要領の全面実施、子どもの学力・生活に直結したさまざま課題 ・大量退職・大量採用時代の到来により生じる「授業力」の向上に関わる課題への対応 ○30講座程度 <主な連携大学> 京都大・京都教育大・佛教大・京都外国語大・京都産業大・大谷大・同志社女子大・京都学園大・京都橘大・京都ノートルダム女子大 等							
企 業 等 連携講座	・地域や保護者との連携協力等の喫緊の教育課題と社会性の向上 ・企業の経営や人材育成の考え方を通して学ぶ学校組織の活性化 ○15講座程度 <民間企業、民間研究団体、シンクタンク 等>							
担当課名	学校教育課 企画振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5831					

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	学校改革リーダー養成事業費		
予算額	3,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;"> 目的 対象 方法等 </div> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> 1 目的 府立高校の中堅・若手教員が、産・官・学と連携した調査・研究等を通して、学校の課題解決や高校改革を進めることにより、今後の高校教育の中心的役割を担う教員を養成する。 2 概要 (1) 内容 個人又はグループで高校改革に関わる研究テーマを設定し、テーマに沿った研究による政策提案を行う。 【研修例】 ・大学や民間企業の経営戦略やノウハウを調査・研究（海外を含む。）し、今後の高校改革期における学校経営のあり方を提案 (2) 対象 今後の高校教育の中心的役割を担う中堅・若手教員 </div> </div>			
担当課名	高校教育課 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5851 5852

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費		
予算額	7,770千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 学校、保護者、地域が連携し、社会全体で子どもたちを守るという 気運の醸成を図るとともに、スクールガード（学校安全ボランティア） による活動が定着するよう支援する。また、通学路の安全点検結果を 踏まえ、特に対策が必要な市町村に対し、通学路安全対策アドバイザーを派遣する。</p> <p>2 事業概要</p> <p><u>子どもたちを見守る安全体制の整備</u></p> <p>(1) 内容 以下の取組を実施する市町村への助成 ○スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等の実施 ○スクールガード養成講習会の実施</p> <p>(2) 経費負担割合 国1/3、府1/3、市町村1/3</p> <p><u>通学路安全対策アドバイザーの派遣</u></p> <p>(1) 通学路安全対策アドバイザー 道路行政に詳しく、道路整備や交通規制とともに防犯にも繋がる専門的 知見があり、具体的な改善策を助言できる者。</p> <p>(2) 派遣先 ①通学路安全対策連絡協議会等を設置する市町（組合）教育委員会 （協議会構成：道路管理者、警察、学校関係者、地元住民等） ②特に対策が困難な学校</p> <p>(3) 助言の内容 ① 児童生徒に交通の危険性を理解させ、その対応を指導 ② 各小学校等の通学路の安全確認についての現場での指示 ③ 協議会で具体的な対策メニューの検討・立案への支援</p>		
担当課・担当名	保健体育課 健康安全教育指導担当 健康安全教育振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5872

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	実践的防災教育総合支援事業費		
予算額	5,200千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的) (対象) (方法等)	<p>1 目的</p> <p>東日本大震災を踏まえ、防災教育、地域住民や保護者・関係機関との連携体制を構築・強化するとともに児童生徒及び学校の災害対応能力を高める防災訓練等の手法を開発・普及する。</p> <p>2 内容</p> <p>防災に関する実践的な取組への支援</p> <p>児童生徒等の「主体的に行動する態度」の育成、安心・安全な社会づくりに貢献する意識を高めるなど、市町村の実践的な取組を支援。</p> <p><取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒等に自ら命を守り抜く態度を身に付けさせる先進的な取組 ・緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練等、地震発生時に児童生徒等が落ち着いて行動する態度を身に付けさせる取組 ・防災に関する科学技術を活用した被害を最小限に抑える取組 ・被災地でのボランティア活動に関する学習など、安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高める取組 <p>学校防災アドバイザーの派遣</p> <p>外部の専門家を学校防災アドバイザーとして学校に派遣</p> <p><主な役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「危険等発生時対処要領」や避難訓練などに対するチェック・助言 ・学校と地域の防災関係機関等との連携体制の構築に関する指導・助言等 		
担当課・担当名	保健体育課 健康安全教育的指導担当 健康安全教育的振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5872

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立学校施設整備費			
予算額	5,834,213千円	新規・継続の別	継 続	
事業内容 目的 対象 方法等	1 府立学校耐震強化対策費 (31校70棟の耐震工事を実施 新規着工⑳～㉑ 22校29棟 継続事業㉒～㉓ 20校41棟)	3,768,559千円 (㉑債務負担行為額 1,909,901千円)		
	2 府立学校校舎等整備費 (1) 京都フレックス学園整備事業費	784,529千円 (㉒～㉔債務負担行為額 2,106,084千円)	(389,170千円)	(新) (2) 府立鴨沂高校校舎等整備費 (393,159千円) (3) 舞鶴支援学校北吸分校移転整備費 (2,200千円)
	3 府民公募型整備事業費	100,000千円		
	4 府立学校施設整備費 (学校機能維持対策 老朽改修等)	372,000千円		
	5 海洋高校実習船建造費 (建造工事：平成24年12月～平成26年3月 総トン数：250トン)	809,125千円		
担当課名	管理課 管理担当	電話番号	075-414-5768	

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立学校耐震強化対策費		
予算額	3,768,559千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的 学校は、子どもたちの学びの場であるとともに、災害時には子どもの命を守るだけでなく地域の防災拠点となることから、早期の耐震化が求められている。 そのため、昨年度から構造体の耐震補強を中心とすることにより工事棟数を大幅に増やし、27年度中の全棟着手を目指している。</p> <p>2 事業概要 31校70棟の耐震化工事を推進 (内訳) 新規着工②⑤～②⑥ 22校29棟 継続事業②④～②⑤ 20校41棟 ※学校数は重複あり</p> <p>【目的 対象 方法等】</p> <p>ポイント</p> <p>①<u>府立学校耐震対策の一層の加速化</u> 耐震化補強工事を開始したH7年度以降<u>過去最大棟数を実施</u> 平成24年度 23校52棟 (うち、新規着工 20校41棟) ↓ 平成25年度 <u>31校70棟</u> (うち、新規着工 22校29棟) ※ 耐震化を要する残棟数 54棟 (予算計上分除く)</p> <p>②<u>耐震化率大幅アップ</u> 平成25年度当初予算事業完了後の耐震化率は92.4% (見込み) 平成24年度当初比で約13%増 79.6% (H24.4.1) → 92.4%へ (H27.3見込み)</p> <p>3 事業費 3,768,559千円 (②⑥債務負担行為額 1,909,901千円)</p>		
担当課名	管理課 管理担当	課・担当 電話番号	075-414-5768

平成25年度耐震補強工事実施校一覧

新規

(単位：千円)

学 校 名	棟 名	面積(m ²)	25年度	26年度
北稜高校	特別教室棟、普通特別教室棟	3,259	63,242	86,738
朱雀高校	管理特別教室棟	2,757	86,026	116,784
鳥羽高校	管理棟	1,646	262,786	359,244
桂高校	教室棟2棟	1,002	18,527	30,493
洛西高校	教室棟	2,027	10,915	12,625
東稜高校	家庭科棟	1,171	25,639	39,441
洛水高校	体育館	1,278	20,837	24,923
東宇治高校	教室棟2棟	3,228	68,079	93,501
城陽高校	教室棟	929	19,854	23,916
京都八幡高校	体育館	1,025	44,061	62,119
久御山高校	特別教室棟、渡り廊下	2,276	31,602	46,158
木津高校	特別教室棟、商業実習棟	2,017	64,151	87,439
亀岡高校	管理普通特別教室棟	2,075	83,398	109,612
福知山高校	教室棟	1,002	36,763	52,987
工業高校	実験室棟	2,635	142,678	194,462
東舞鶴高校	教室棟	1,294	32,899	50,181
西舞鶴高校	管理教室棟	4,826	175,406	238,534
加悦谷高校	特別教室棟	837	34,186	49,784
峰山高校	普通教室棟	1,002	50,596	71,644
峰山 弥栄分校	特別教室棟2棟	2,655	35,618	53,572
網野高校	特別教室棟	1,175	24,316	37,574
久美浜高校	教室棟2棟	1,529	48,980	68,170
計 2 2 校 2 9 棟			1,380,559	1,909,901

継続

(単位：千円)

学 校 名	棟 名	面積(m ²)	25年度	26年度
山城高校	教室棟、渡り廊下	3,046	80,861	—
洛北高校	格技場	944	42,608	—
朱雀高校	教室棟、特別教室棟、格技場(地下)、普通特別教室棟	6,573	208,582	—
鳥羽高校	本館棟、教室棟	3,278	275,834	—
北桑田高校	特別教室棟	1,122	42,991	—
桂高校	特別教室棟	2,121	77,968	—
洛西高校	家庭科棟	1,646	33,648	—
東稜高校	教室棟2棟	3,932	88,156	—
洛水高校	格技場、教室棟、渡り廊下	2,574	43,982	—
向陽高校	特別教室棟	3,135	270,030	—
東宇治高校	管理教室棟	3,783	311,078	—
園部高校	教室棟2棟	2,361	112,636	—
須知高校	教室棟2棟、武道場	3,100	82,851	—
綾部高校	武道場、渡り廊下	609	27,109	—
福知山 三和分校	実験室棟	472	49,648	—
工業高校	普通特別教室棟、渡り廊下2棟	3,082	160,777	—
西舞鶴高校	普通教室棟3棟、特別教室棟、便所棟、渡り廊下	3,290	92,414	—
峰山 弥栄分校	農業実験室棟	250	18,304	—
網野 間人分校	管理教室棟	1,024	154,980	—
久美浜高校	特別教室棟3棟	3,455	213,543	—
計 2 0 校 4 1 棟			2,388,000	—
計 3 1 校 7 0 棟			3,768,559	1,909,901

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	高校生等修学支援事業費			
予算額	1,774,606千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 教育の機会均等を図るため、修学資金貸与や通学費補助などにより高校生の修学を支援する。			
	2 内容 (単位：千円)			
		事項	内容	事業費
		高等学校等修学資金貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学金（月額、上限） 国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円 私 立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円 ・ 修学支度金（入学一時金、定額） 国公立 50,000円 私 立 250,000円 ・ 特別融資利子補給 銀行等からの貸与分に対する利子補給 	1,748,201
		高等学校生徒通学費補助	多額の通学費を要する生徒の保護者負担を軽減するための補助	6,500
	定通教育教科書等給与	定時制・通信制課程に通う生徒への教科書給与等	7,675	
	定通修学奨励金貸与	定時制・通信制課程に通う生徒への修学奨励金の貸与	12,230	
担当課名	高校教育課 修学支援担当	電話番号	075-414-5856	

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	家庭教育支援事業費		
予算額	3,460千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 家庭での学習習慣や生活習慣が身に付くよう、就学前の子どもを持つ親等を対象に学習機会や情報の提供を行うとともに、親同士のネットワークづくりを進め、さらには専門家による相談体制の充実を図ることにより、家庭の教育力の一層の向上を目指す。</p>		
	<p>2 内容</p>		
	<p>事項</p> <p>親のための 応援塾 開催事業</p>	<p>内 容</p> <p>小学校入学前の子どもを持つ保護者と先輩保護者との交流等を行う「親のための応援塾」の開催により、子育てに関わる親の不安の解消と親同士のネットワークの形成を目指す。</p> <p>○実施主体 京都府PTA協議会に委託し、各小学校PTAにおいて実施</p> <p>○実施内容 子育てワークショップ、先輩親との交流、相談、アドバイスの実施</p>	
<p>家庭教育 支援基盤 形成事業</p>	<p>家庭の教育力の向上のため、親への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行う市町(組合)教育委員会に対し、助成等の支援を行う。</p> <p>○市町村実施事業(補助事業) 家庭教育支援チーム活動の普及・定着 子育てに係る学習機会の提供</p> <p>○府実施事業 京都府家庭教育支援協議会の設置 指導者等研修の実施(教育局単位)</p>		
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5889

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	地域で支える学校教育推進事業費		
予算額	14,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的) (対象) (方法等)	<p>1 目的 地域ぐるみで学校を支える体制整備として「学校支援地域本部」を設置して地域コーディネーターや学校支援ボランティアを配置し、学習支援・部活動の支援・読書活動支援・学校行事の支援など、学校のニーズに応じた教育支援活動を展開する。</p> <p>2 内容 (1)市町村実施事業（補助事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の設置（市町村毎に設置） 学校支援の推進に係る企画立案、広報、人材養成等を実施 ・学校支援地域本部の設置（原則中学校区単位で設置） 地域コーディネーター 学校のニーズを把握し、学校の要請に応じて各種ボランティアを派遣 学校支援ボランティア(教育活動支援員) 実際に学習支援や部活動指導などの学校支援を行う地域住民、学生等 <p>(2)府実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会の設置 地域社会で子どもをはぐくむ事業の効果的な推進方策を検討 ・指導者等研修の実施 京のまなび教室の指導者研修会と合同開催。両事業の関係者が互いの活動内容や取組状況等を情報交換することにより、コーディネート能力等の資質の向上を目指す。 ・事業の啓発 事業パンフレットや実践事例集等を作成し、市町村の取組を支援 		
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5885

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	京のまなび教室推進事業費		
予算額	41,553千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的) (対象) (方法等)	<p>1 目的 地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進するため、学校等を子どもの安心・安全な居場所として活用した「京のまなび教室」の開設を支援し、土曜日等における子どもの体験活動・学習活動等の充実を図る。</p> <p>2 内容 (1)市町村実施事業（補助事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の設置 事業の運営方法等を検討する委員会の設置・運営 ・コーディネーター等の配置 コーディネーター：各市町村における事業の総合的な調整等 学習アドバイザー：児童の学習や体験活動を支援 安全管理員：児童の安心・安全を確保 ・京のまなび教室の実施 時間：土曜日の午前、平日の放課後等 内容：学習活動、スポーツ活動、文化体験、異世代交流等 場所：小学校、公民館、児童館等の身近な施設 指導者：安全管理員や学習アドバイザー等に加え、地域の高齢者、高校生・大学生ボランティアなど、地域の人材の参画を得て実施 <p>(2)府実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会の設置 教育支援活動及び放課後対策に係る事業の効果的な推進方策及び総合的な在り方を検討 ・指導者研修の実施 市町村のコーディネーター等の資質向上をねらいに、府域及び教育局別の研修会を実施 ・特別講師のコーディネート 京の伝統工芸士、企業・団体の技術者・専門家、大学院生等を「特別講師」としてリストアップして市町村に提示 		
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5885

平成25年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立少年自然の家施設整備費												
予算額	84,480千円	新規・継続の別	新規										
事業内容 〔目的〕 対象 方法等	<p>1 目的</p> <p>自然の中で心身ともに健全な少年の育成を図るための社会教育施設「るり溪少年自然の家」の機能充実を図るため、施設・設備の整備を行う。</p> <p>2 内容</p> <p>(1)子どもの体験活動の充実等を図るためのクラフト実習室新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の素材を活かした木工や陶芸、染色等の新たな体験活動プログラムが実施可能に <p>実習室の整備にあたっては、環境にやさしい府内産木材を使用し、あたたかみとうるおいのある学びの場とする。</p> <p>(2)安心・安全に利用していただくための老朽化改修、バリアフリー化</p> <p>屋根・外壁改修、電灯設備改修、トイレ・浴室改修 等</p> <p>＜るり溪少年自然の家の概要＞</p> <table border="1" data-bbox="448 1536 1382 1823"> <tr> <td>所在地</td> <td>南丹市園部町大河内小米阪</td> </tr> <tr> <td>開設</td> <td>昭和58年4月</td> </tr> <tr> <td>規模</td> <td>敷地面積：91,980㎡ 建物面積：3,722㎡</td> </tr> <tr> <td>施設概要</td> <td>本館：鉄筋コンクリート造2階建 宿泊室、リーダー室、プレイホール、研修室、食堂、浴室、キャンプ場、屋外炊飯場 等</td> </tr> <tr> <td>利用実績</td> <td>189団体、17,889人（平成23年度）</td> </tr> </table>			所在地	南丹市園部町大河内小米阪	開設	昭和58年4月	規模	敷地面積：91,980㎡ 建物面積：3,722㎡	施設概要	本館：鉄筋コンクリート造2階建 宿泊室、リーダー室、プレイホール、研修室、食堂、浴室、キャンプ場、屋外炊飯場 等	利用実績	189団体、17,889人（平成23年度）
所在地	南丹市園部町大河内小米阪												
開設	昭和58年4月												
規模	敷地面積：91,980㎡ 建物面積：3,722㎡												
施設概要	本館：鉄筋コンクリート造2階建 宿泊室、リーダー室、プレイホール、研修室、食堂、浴室、キャンプ場、屋外炊飯場 等												
利用実績	189団体、17,889人（平成23年度）												
担当課名	社会教育課 企画調整担当	電話番号	075-414-5882										